

剣道部顧問 様

茨城県中体連剣道専門部委員長 雨谷大輔

県新人大会出場おめでとうございます。

十分な準備をして大会に参加してください。また、出場に際し、いくつかの確認をいたします。保護者に伝達が必要な内容は、顧問が責任をもって伝えて下さい。ご協力よろしくお願いいたします。

1 駐車場のお願い（8時15分に駐車場が開場）

○駐車について

アリーナ前の駐車スペースに駐車をして下さい。入り口付近に一旦停車して荷物の積み卸し等を行いますと渋滞の原因となりますので禁止とします。

※8時15分より前に駐車場に来ることのないようにしてください。

また、周辺道路に停車等しないようにしてください。

2 試合会場への入場制限

○試合フロアにいることのできる人は次の人だけです。

来賓・校長・申込に記載された指導者・審判員・役員・選手(補員を含む)・係員生徒

※係員の学校の生徒は、制服で係員をお願いします。

※個人戦の補助生徒(付き添い生徒)は、稽古着袴をお願いします。

3 会場への入場時間について

○選手、応援生徒の入場時間は、9:00とします。

その他の方々の入場時間は、9:30とします。

3 非常時(災害時)の対応について

○地震等の災害時における、非常時の対応については、監督会議及び開会式において連絡をします。

伝達内容を十分に理解し、生徒・保護者に周知ください。

4 大会プログラム

○ホームページよりダウンロードして各校で印刷してください。(10月28日アップ予定)

ホームページ「みんなで剣道」：<http://www.ibachuken.com/>です。

5 竹刀検量

○引率の指導者で、検量の手伝いができる指導者は、8:40までに入館してください。

○朝9時より、メインアリーナで行います。出場選手自身が検量会場に来るようにして下さい。

検量に合格しない竹刀とは…

- ・ つるの張り具合と破損 ・ 中結いの位置と締め具合や末端の処理 ・ 先皮や柄皮の破損
- ・ 竹刀の破損や合わせ具合(基本的に組み替えの竹刀は合格しません) ・ 刃部へ彫刻(絵柄等)
- ・ 学校名などの氏名の未記入 ・ 竹刀の隙間(乾燥によるものは5mm以内)
- ・ 長さ、重さ、太さが十分あるもの(太さは先端部とちくとう部になります。)

○女子個人・男子団体に出場する選手の検量は4日に、男子個人・女子団体に出場する選手の検量は5日に1回戦に出場する試合場で行うようにしてください。

○検量で不合格となった竹刀は、検量担当が一旦預かり、指導者に返却をします。

○試合前に試合場に入る際は、検量シールの確認担当と、シールの確認を行ってから試合場に入して下さい。

6 観客席(座席)

○座席には荷物を置かず、ご来場の方が座れるように生徒には指導します。また、ビニールシートを置くなどして居場所の確保をされる方や団体がありますが、今大会ではご遠慮くださいますようお願いいたします。席に限りがありますので、譲り合って座っていただきますようお願いいたします。

7 その他

○検量方法の変更に伴い、検量担当者の不足が予想されます。お手伝いいただける先生はご協力をお願いします。

○昼食代700円を当日の朝、受付で徴収させていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

竹刀検量の観点一覧表

項目	順	部 分	観 点	詳 細	対 応
長さ・太さ・ちくとう	①	長さ	- 検量キットで確認する - 中結が全長の約1/4の位置にある	- 全長114cm以下 (男女共通・付属品も含む) 1/4の位置=28.5cm±5cmを目安とする	不合格の竹刀は検量を通さない
	②	太さ	- 検量キットで確認する - 先革の太さ (男子:25mm 女子:24mm 以上) - 先革の長さ(50mm 以上)	- 検量キットに置いた際に自重で下まで落ちないこと - 弦を上にして落ちたら不合格 - 先皮が必要以上につぶれていないこと	
	③	ちくとう	- 検量キットで確認する - ちくとうの太さ (男子:20mm、女子:19mm 以上)	竹刀先端より8cmの部分で測定する	
重量	④	重量	- 男子 440g 以上 - 女子 400g 以上	デジタルのはかりで確認する ※はかりの誤差がないようにする	
容 姿	⑤	全体	- 折れ、割れ、ささくれ、虫食い、傷 - 竹に隙間がある	- 削らないといけないもの - 先ゴムが大きすぎる - 縦に見て竹刀の隙間から向こうが見えるもの(5mm程度の隙間)は不合格	修復できるものは返却して再検量 修復できない竹刀は一旦預かり指導者に返却
	⑥	異物	柄を下にして、床に数回落とす	ちぎり、先ゴム以外が入っている	
	⑦	先皮	- 先皮が破れている - 先皮が薄くなっている - 先皮と竹の間に隙間がある	- 隙間から先ゴム・竹が見えている - 先皮が大きいのを使用している - 回転する	
	⑧	中結	- 緩んだり、切れたりしている - 固定されていない	- 簡単にほどけてしまわないもの - 軽い力で回した時、90度以上回転する	
	⑨	弦	- ゆるみ、すりきれがある - 柄の上方で竹刀に巻きつけている - 中結を固定するための結び目が見えている	- 軽い力で上に引き上げたとき、2cm以上上がるもの - 中結を適正な位置に直して検査する	
	⑩	柄	- 破れている - 柄が必要以上に濡れている - 学校名と氏名が書かれている	これら以外の部分→検量係長に確認	
検印	⑪	検印	刃部のつば元に検印シールを貼る。	男女で見分けがしやすい色分け	シールが貼られているかを確認